

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を ◆



とむらかつゆき 戸村勝幸県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

成田空港機能強化には 住民の理解と協力必要

12月定例県議会一般質問

戸村議員　わが国の訪日外國人數は、過去最高のペースで伸びており、本年10月末には初めて2千万人を超える。さらに国は、訪日外国人旅行者数を2020年に現在の2倍にあたる4千万人、2030年には3倍にあたる6千万人を目指し、観光を我が国の中幹産業としていく成長戦略を打ち出している。

また、今後の首都圏の航空需要は現在の成田と羽田を合わせた処理能力45万回を超えるとの試算も出されている。

このように、昨年来、国土交通省、周辺9市町、成田国際空港株式会社及び千葉

人旅行者数を2020年に現在の2倍にあたる4千万人、2030年には3倍にあたる6千万人を目指し、観光を我が国の中幹産業としていく成長戦略を打ち出している。

今後、人口減少社会を迎える中、国際競争力を維持し、国を代表するたまえ、県は今後どのように対応するのか。

総合企画部長　成田空港実施状況を踏まえ、県は今後どのように対応するのか。

戸村議員　成田空港は大規模な内陆空港であり、今回の空港会社の提案した機能強化策は、航空機騒音などにより周辺地域の住民の生活環境に大きな影響を及ぼすことから、その理解と協力が不可欠であると考えています。

●県政と香取郡に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

戸村勝幸県議事務所

〒289-0601 香取郡東庄町笛川い4683-3
TEL0478-86-0246 FAX0478-86-2497

戸村勝幸のフェイスブックもご覧ください。▶▶▶

facebook

戸村勝幸



本会議で登壇し、一般質問を行う戸村勝幸県議

活力ある香取郡の実現を目指し、県議会で着々と力を蓄えている戸村勝幸（とむら・かつゆき、1期）県議は12月定例県議会で早くも2度目の一般質問に臨み、県政の現状や今後の施策の方針について森田知事ら県執行部

に質しました。戸村県議は四者協議で示された成田空港の機能強化に関する住民説明会の状況を質問し、「機能強化の検討は住民の理解と協力が大前提」と力説しました。戸村県議の質疑と県当局の答弁を特集します。

会の実施状況はどうか。また、住民からどのような意見が出ているのか。

総合企画部長　本年9月の四者協議会以降、国と空港会社は、機能強化の必要な具体的な機能強化の内容及び環境対策などの案について、地域住民への説明を行っており、すでに5つの市町で合計52回実施されて

います。住民の皆様からは、深夜早朝の飛行制限緩和に反対する意見が多く出されていますが、移転補償や防音対策の対象となる地域を決める際には、集落を分断しないような配慮、さらには、住宅防音工事や地域振興策の充実を求める要望などが出ていているところです。

県においては、今後の機能強化の議論の進捗に合わせ、成田空港の発展が空港周辺地域、さらには県全体の発展につながるよう、空港と共に発展する地域づくりの検討に積極的に取り組むよう要望する。



県執行部に行政方針を聞く戸村勝幸県議

平成29年1月15日(日曜日)

多く
再質問

戸村議員 県として、「佐原の山車行事」を含めた伝統芸能がの方々に親しまれ、後世

圏央道から空港へ アクセス強化を要望

県としては、このような効果を最大限發揮させ、県内全域に波及させるため、大栄横芝間の早期完成を促進し、圏央道の一日も早い全線開通に向け、鋭意取り組

多古町や芝山町あたりで、巻中央道から成田空港に入れるようになると、東金茂原、外房地域の皆様方に、とつて成田空港が非常に使いやすくなり、県民に非常に優しい成田空港になるのではないかと期待できるので、関係機関と連携を図しながら、検討を進めるよう要望する。

また、神崎町やその周辺地域の更なる発展のために、は、圏央道へのアクセス性

早期供用

東庄川バス

事業推進

東庄町側の4キロドルの
ち、3・5キロメートリについて
改良工事が終了。残る0
5キロメートルでは、黒部川に架
る橋梁の設計を進めて
り、今年度中には用地取
に着手したいと考えてお
ます。

引き続き、地元の皆様
ご理解とご協力をいただ
ながら、用地の取得を進め
早期供用に向け、事業の

県道下総橋停車場東城線 進に努めてまいります。

利根川大橋に接続する、2.6キロメトルのバイパス整備を進めています。

これまでに、宮本地先から橋小学校付近までの1.6キロメトルを供用しており、残る1.0キロメトル区間では、鉄道を跨ぐ橋梁について、JR東日本と協議を進めるとともに、鉄道南側の盛土工事を行っているところです。

引き続きこの盛土工事を進めるとともに、早期に橋梁工事に着手できるよう事業推進に努めてまいります。

戸村勝幸県議会リポート

戸村謙員 一佐原の山車行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことについて、県はどう考えているのか。

教育長 各地に伝わる伝統芸能の中で、重要なものにどのよう取り組んでいくのか。

二つでは専門的な見地から
調査を行い、国、県、あるいは
市町村において無形民俗
化財等に指定し、保存活用
関わる支援を行っていると

毎年一房総の郷土芸能を開催して、多くの方々に伝芸能に触れ親しんでいたりますが、出演する存団体にとつては、新たに

援してまいりたいと思
す。

飼料用米の地域内流通
況はどうか。

県立農業試験場
農家の直接取引によ
り、通しておる、前年に比
べて、穀類を多く使用
する傾向が、ますます強
くなつてゐる。

約3年で、双方の農家が肥料用米の直接取引を協議する体制作りを進めるとともに、すでに取り組んでいる農家の収益性について詳細に分析

千葉の魅力を発信して
伝統文化活用して
知事

「佐原の山車行事」ユネスコ無形文化遺産に登録

弁をいただいた。「佐原の車行事」は、千葉県で初のネスコ無形文化遺産などで、大切に扱っていただく

とが、地元地域の発展に与するものと確信してい
ぜひ、県として支援をす
ようお願いする。

戸村議員 県では、飼料用米の地域内流通をどのように推進していくのか。